佐藤　長博士著作目錄

單行本

古代チベット史研究(上)（二三糎五〇一頁　東洋史研究叢刊之五之一）　東洋史研究會　昭和三三年　九月
古代チベット史研究(下)（二三糎五五七頁　東洋史研究叢刊之五之二）　東洋史研究會　昭和三四年　十月

共著——共譯・共編

明代西藏史料　明實錄抄（明代滿蒙史料明實錄抄蒙古篇一〇と合本）　京都大學文學部　昭和三四年　三月
フゥラン・テプテル——チベット年代記——（二五糎一三二頁）　法藏館　昭和三九年　五月
五體淸文鑑譯解　上卷（二五糎一〇七五頁解題二九頁）　京都大學文學部內陸アジア研究所　昭和四一年　九月
五體淸文鑑譯解　下卷——總索引——（二五糎六七四頁）　京都大學文學部內陸アジア研究所　昭和四三年　一月
『騎馬民族史3正史北狄傳』吐蕃傳（舊唐書・新唐書）譯註（東洋文庫二二八）　平凡社　昭和四八年　三月

論說

女國と蘇毗　東洋史研究第六卷第六號　昭和十七年　二月
初代磧西節度使の起源と其の終末(上)——碎葉焉耆更換事情の一考察——　東洋史研究第七卷第六號　昭和十七年十二月
初代磧西節度使の起源と其の終末(下)——碎葉焉耆更換事情の一考察——　東洋史研究第八卷第二號　昭和十八年　六月
唐蕃會盟碑の研究　東洋史研究第一〇卷第四號　昭和二四年　一月

古代西藏文化の一考察　歴史學第一輯　昭和二四年八月
西藏文獻の史料的價値(上)——吐蕃王統論を中心として——　東洋史研究第一〇卷第六號　昭和二五年二月
西藏文獻の史料的價値(下)——吐蕃王統論を中心として——　東洋史研究第一一卷第二號　昭和二六年三月
古代シナの農業と社會　研究（神戸大學文學會）第一號　昭和二六年十二月
古代西藏の內部構造　古代學第一卷第二號　昭和二七年四月
チベット語ラサ方言音韻についての覺書——石濱先生還曆記念論文一四——　東西學術研究所論叢一五　昭和二九年九月
吐蕃佛教の史料について　東洋史研究第一三卷第五號　昭和三十年一月
チベット史の樣相　教養東洋史（史學地理學教養書刊行會、柳原書店）　昭和三十年五月
金城公主の入藏について（上）　史林第三九卷第一號　昭和三一年一月
ティベットの過去と現在　『新講座地理と世界の歴史』アジア篇上（雄渾社）　昭和三一年一月
金城公主の入藏について（中）　史林第三九卷第三號　昭和三一年五月
金城公主の入藏について（下）　史林第三九卷第四號　昭和三一年七月
チベットの歴史　『アジア史講座』第四卷北アジア（岩崎書店）　昭和三一年八月

吐蕃の長安侵入について　京都大學文學部研究紀要 4（五十周年記念論集）　昭和三一年十一月

チベット

明の武宗の「活佛」迎請について　『北アジア史』世界各國史12・付編（山川出版社）　昭和三一年十一月

チベット古代史研究の一問題　塚本博士頌壽記念佛教史學論集　昭和三六年　二月

明代チベットの八大教王について（上）　古代文化　第九卷第一號　昭和三七年　七月

明代チベットのリゴンパ派の系統について　東洋史研究第二一卷第三號　昭和三七年十二月

ダルマ王の在位年次について　東洋學報第四五卷第四號　昭和三八年　三月

明代チベットの八大教王について（中）　史林　第四六卷第五號　昭和三八年　九月

元末明初のチベット狀勢　東洋史研究第二二卷第二號　昭和三八年　十月

明代滿蒙史研究――明代滿蒙史料研究篇（京都大學文學部）　昭和三八年　十月

ダルマ王の子孫について　東洋學報第四六卷第四號　昭和三九年　三月

明代チベットの八大教王について（下）　東洋史研究第二二卷第四號　昭和三九年　三月

ダヤン・カーンにおける史實と傳承　史林　第四八卷第四號　昭和四十年　七月

吐蕃王の夏牙悶懼盧川について　古代文化第一五巻第二號　昭和四十年　八月

中國史における南と北　『世界歴史』第四巻第二部（人文學院）　昭和四十年　十月

The Altaic Study and the Studies of the Neighboring Peoples: *Proceedings of the Conference of Junior Altaists on International Cooperation for Manchu and Mongol Studies, July 3—9, 1966*, Institute for Inland Asian Studies, Kyoto, Japan.

パグモドゥ王朝の衰退過程　田村博士頌壽東洋史論叢

モンゴル帝國の推移　『世界歴史シリーズ』12（世界文化社）　昭和四三年　五月　昭和四四年　二月

倭の五王とその祖先について　史林　第五三巻第五號　昭和四五年　九月

チベット民族の統一とラマ教の成立　岩波講座『世界歴史』6　昭和四六年　一月

内陸アジアと清朝　岩波講座『世界歴史』13「内陸アジア世界の展開」總説（岩波書店）　昭和四六年　五月

ロブザンダンジンの反亂について　史林　第五五巻第六號　昭和四七年十一月

近世青海諸部落の起源（上）　東洋史研究第三二巻第一號　昭和四八年　六月

近世青海諸部落の起源（下）　東洋史研究第三二巻第三號　昭和四八年十二月

唐代青海東邊の諸城塞について――『玉樹縣志稿』の紹介を兼ねて――　史林　第五八巻第五號　昭和五十年　五月

唐代における青海・ラサ間の道程　東洋史研究第三四巻第一號　昭和五十年　六月

The Route from Kokonor to Lhasa during the T'ang Period　*Acta Asiatica*, 29　昭和五十年

河西九曲の地について　東洋學報第五七巻一・二號　昭和五一年　一月

「吐蕃」・「羊同」などの名稱について　東洋史研究第三五巻第一號　昭和五一年　六月

隋の煬帝の吐谷渾征討路について　江上波夫教授古稀記念論集歴史篇　昭和五二年　五月

チベット　世界歴史の基礎知識(2)（有斐閣）　昭和五二年　六月

『水經注』にあらわれた大夏河について　鷹陵史學　第三・四號　昭和五二年　七月

吐蕃と東トルキスタン　シルクロード昭和五三年二・三月合併號　昭和五三年　三月

チベットの嗚爾招木倫江について　内田吟風博士頌壽記念論集　昭和五三年　三月

批評・紹介

乾燥アジア文化史論（松田壽男・小林元著）　考古學論叢　第九號　昭和十三年十二月

奉天と遼陽（鴛淵一著　冨山房『支那歴史地理叢書』六　昭和十五年）　史林　第二五卷第四號　昭和十五年　十月

蒙古學報　創刊號　東洋史研究第五卷第五號　昭和十五年　八月

蒙古喇嘛教史（ジクメ・ナムカ著、外務省調査部譯　生活社　昭和十五年）　東洋史研究第六卷第三號　昭和十六年　五月

西藏・蒙古喇嘛教史（橋本光寶編　蒙藏典籍刊行會　昭和十五年）　東洋史研究第六卷第三號　昭和十六年　五月

忽必烈汗（愛宕松男著　冨山房『支那歴史地理叢書』一〇　昭和十六年）　史林　第二六卷第三號　昭和十六年　七月

チベット（多田等觀著　岩波書店『岩波新書』91　昭和十七年）　東洋史研究第七卷第二・三號　昭和十七年　七月

蒙古學問寺（長尾雅人著　高桐書院　昭和二二年三月）　東洋史研究第十卷第三卷　昭和二三年　七月

A. Ferrari, Alfonsa, *Mk'yen brtse's Guide to the Holy Places of Central Tibet* (comp. & ed. by Luciano Petech & Hugh Richardson), Roma, IsMEO., 1958 (Serie Orientale Roma, XVI)　東洋史研究第一九卷第二號　昭和三五年　九月

Yang, Ho-chin, *The annals of Kokonor* (Indiana Univ. Pr., Uralic Altaic Ser., Vol. 106, 1969)　東洋史研究第二九卷第一號　昭和四五年　六月

チベットの文化（R・A・スタン著、山口瑞鳳・定方晟譯　岩波書店　昭和四六年）　史林　第五五卷二號　昭和四七年　三月

Aḥmad, Ẓahir 'ud-Dīn, *Sino-Tibetan Relations in the Seventeenth Century*, Roma, IsMEO, 1970 (Serie Orientale Roma, XL)　東洋史研究第三一卷第二號　昭和四七年九　月

雜　錄

朶甘に就いて	東洋史研究第五卷第五號	昭和十四年　八月
西藏における蒙古人	東洋史研究第十卷第二號	昭和二三年　五月
スンバケンボ全集の版木について	東洋史研究第十卷第三號	昭和二三年　七月
羽田先生の魅力	東洋史研究第十四卷第三號	昭和三十年十一月
京都における青木先生の二人の弟子	日本西藏學會會報第四號	昭和三二年　十月
木村肥佐生氏「チベット潛行十年」を讀みて思う	日本西藏學會會報第五號	昭和二二年　九月
チベット語地名ブゥシンクンについて	東洋史研究第二三卷第二號	昭和三九年　九月
東洋史研究の歩みを語る（座談會）	東洋史研究第二六卷第一號	昭和四二年　六月
青木師の名著復刊に寄せて	青木文教著『西藏』序文（芙蓉書房　昭和四四年）	昭和四四年　八月
柏博士の歴史學への寄與について	『史觀をめぐる四十年』（農學原論研究會編　未來社）	昭和四六年　三月
祕境西域八年の潛行（西川一三著　芙蓉書房）序文		昭和四七年　十月
挨　拶	以　文　第十五號	昭和四七年　十月

ある希望　以　文　第十六號　昭和四八年　十月

京の祭に參加して　仙臺一高同窓會會報第25號　昭和五二年　二月

刊行の辭　史林六十卷記念總目錄序文　昭和五二年十二月

講演要旨

明の朝廷に於ける西藏喇嘛教徒の問題　史林　第二四卷第二號　昭和十四年　四月

唐代吐蕃の內部構造　史學雜誌第五二編第七號　昭和十六年　七月

古代西藏史料について　東洋史研究第十卷第三號　昭和二三年　七月

「吐蕃」「羊同」の名稱について　東洋史研究第三四卷第三號　昭和五十年十二月

辭典項目

世界歷史事典　于闐國記、甘珠爾 Bkaḥ ḥgyur、ガンデン寺、ギャンツェ Rgyan tse 江孜、クンブム寺 Shu ḥbum、黃寺、シガツェ Shi ga tse 日喀則、シャビナル Śabinar 沙畢那爾、ジャンジャ・フトクト Lcaṅ syka hu thu ku tu 章嘉胡圖克圖、スロン・ツァン・ガム・ポ Sroṅ btsan sgam po、セラ寺 Se ra 色拉、タシルンポ寺 Bkra çis lhun po 札什倫布、チェプツンダンパ・フトクト Rje btsun dam pa hu thug thu 哲卜尊丹巴胡圖克圖、チスロン・

平凡社　昭和二六年四月～昭和二九年三月

デツァン Khri sroṅ lde brtsan 乞黎蘇籠獵贊、チベット Tibet 西藏、チベット・インド條約 Convention between Great Britain and Tibet、チョーネ寺 Co ni 卓尼、唐蕃會盟碑、吐蕃、ヤングハズバンド、ラッサ、ラブラン寺 Bla braṅ dgon pa 拉卜楞、ラマ喇嘛教、喇嘛廟、レボン寺 Ḥbras spuṅs 別蚌、第二十三卷史料篇

東洋　第七篇　V　チベット

世界大百科辭典　ジェプツンダンパ・フトクト、チソンデツェン Khri-sroṅ lde-brtsan、チベット・歴史、唐蕃會盟碑、吐蕃、ジャンジャ・フトクト Lcaṅ skya hu thug thu　平凡社　昭和三十年十月～昭和三二年五月

アジア歴史事典　青木文教、アティーシャ Atīśa、于闐國懸記 Liyul luṅ bstan pa 英藏條約、河口慧海、シッキム・チベット條約、シムラ會議、ターナー Samuel Turner、チベット Tibet 西藏、駐藏大臣、氐、唐蕃會盟碑、吐蕃、パクサム・ジョンサン Dpag-bsam ljon-bzaṅ、パクモドゥ Phag-mo-gru、ラサン・カン Lha-bzaṅ khan 拉藏汗　平凡社　昭和三四年九月～昭和三七年四月